

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論Ⅰ			必修	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
大泉 葉子 他		406	yoko.oizumi	講義終了後、または、メールでアポイントメントをとってきてください		
授 業 の 目 的 ・ 概 要	女性のライフサイクル各期（思春期・成熟期・更年期・老年期）における性と生殖の観点から身体・心理・社会的な特徴及び発達を理解し、各時期に応じた健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、健康逸脱時における看護の目的・方法・役割機能について学ぶ。妊娠・分娩・産褥期、新生児期の経過を理解し、各時期の対象におこる変化や適応状態をアセスメントし、母性看護の対象に関わる基本的姿勢と基本的技術を学ぶ。対象とその家族のもつ課題や健康問題について理解し、周産期を正常に経過し、異常に逸脱しないように対象自身のセルフケア能力を活かした援助の基本的知識・技術・態度を修得する。さらに妊娠・分娩の異常、健康を逸脱した褥婦、不妊症、性感染症、更年期障害の看護について基本的知識・技術・態度を修得する。					
授 業 形 式 ・ 方 法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ 実技 ☐ その他 ()					
学 習 上 の 助 言	予習復習を実施し疑問が生じた場合は講義毎のコメントペーパーやオフィスアワー等で質問すること。					
教 科 書	・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① /著:森恵美 他 /医学書院 /2023 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② /著:森恵美 他 /医学書院 /2023 〔2 冊指定〕					
参 考 書	・ウェルネス看護診断にもとづく 母性看護過程 第3版 /編:太田操 /医歯薬出版 /2017					
外 部 教 材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	女性のライフサイクル各期(思春期・成熟期・更年期・老年期)における女性の健康とその看護について説明することができる。				NS(2)(4)	
②	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の正常な経過とその看護について説明することができる。				NS(2)(4)	
③	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の健康逸脱とその看護について説明することができる。				NS(2)(4)	
④	産褥期、新生児期にある母子のアセスメント、看護診断を行うことができる。				NS(2)(3)(4)	
⑤	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期の看護に必要な技術を理解することができる。				NS(2)(4)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション 女性のライフサイクルと健康について (思春期・成熟期)		講義	【復習】授業ファイルの作成、教科書や資料を基に知識の整理を行う。 		

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

10	分娩期のアセスメントと看護①	講義	【復習】教科書や資料を基に知識の整理を行う。	1
11	分娩期のアセスメントと看護② 分娩に関する映像を視聴する。	講義		1
12	正常産褥経過	講義		1
13	産褥期のアセスメントと看護	講義		1
14	母乳育児と看護	講義		1
15	新生児の生理	講義		1
16	正常新生児のアセスメントと看護	講義		1
17	妊娠期の異常①	講義		1
18	妊娠期の異常②	講義		1
19	分娩期の異常①	講義		1
20	分娩期の異常②	講義		1
21	産褥期の異常①	講義		1
22	産褥期の異常②	講義		1
23	新生児期の異常①	講義		1
24	新生児期の異常②	講義		1
25	母性看護過程の考え方	講義・演習	産褥期の看護過程（アセスメント、看護診断）	1
26	母性看護過程の演習①	講義・演習		1
27	母性看護過程の演習②	講義・演習		1
28	母性看護過程の演習③	講義・演習		1
29	看護過程演習の振り返り	講義		1
30	母性看護援助論Ⅰの講義、演習内容を総括する	講義	授業ファイル、教科書の内容確認	1
試	定期試験（60分） 達成度評価・評価のポイントを参照			

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/母性看護学】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	10	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	90	0	0	0	0	90
	思考・推論・創造する力	0	5	0	0	0	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	0	0	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	試験は 90 点満点とする。そのうち 20 点分を中間試験で評価し、70 点分を定期試験で評価する。 試験ではテキストや資料に基づく問題を出題し理解度を問う。課題も復習すること。			中間試験後、誤答の多かった問題や国家試験頻出問題についてなどの解説を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①		看護過程演習時の課題の記載内容を全体の 10%で評価する。課題の詳細は講義内で説明する。			課題確認後返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験							
実践的授業の内容		実務経験のある教員の指導のもと母性看護学の基礎的知識、技術について理解を深める。					
そ の 他		演習課題等は期日までに提出すること。					